

## MT3200 & S240 & S250 サービスモード一覧



MT3200 パネル




S240 & S250 パネル

機能説明 & 正常範囲	NO	MT3200	S240	S250
ウェイト貼り付け位置の設定 3時、6時、12時が選択可能	89	○	—	—
自動位置決め機能(RPA)ON/OFF ウェイト取り付け位置まで自動で回転	90	—	—	—
1グラムON/OFF 左側 : 5.ON/OFF リム径データ四捨五入 右側 : 1.ON/OFF 1.ONは1g刻み 1.OFFは5g刻み	91	○	○	○
プログラムの Ver No 表示 MT3200: Ver 2.1 S250 & S240: Ver 1.3	93	○	○	○
キャリブレーション係数表示 F : -2.0 ~ 2.0 が正常範囲	95	○	○	○
シグナルチェック F : -2.0 ~ 2.0 左: 200 ≥ OK 右: 100 ≥ OK Spd: 重さにより変化 Scr : 0-6 OK 0-7 NG	96	○	○	○
エンコーダー表示 MT3200 : 0~511(低速手動) 768(高速自動) S240 & S250 : 0~127(低速手動) 192(高速自動)	97	○	○	○
自動入力数値確認 MT3200 di: フランジ部で-110 ± 5 d: 最大725 ± 5 S250 : 原点でdiとdともに5近辺	98	○	—	○
回転数変更 回転数を変更して同じ位の数値を確認	99	○	○	○
スピン回数表示 tot: トータルスピン回数 CAL: CAL後スピン回数 Par: 電源を入れてからのスピン回数	101	○	○	○


## サービスモードへの入り方


基本的に、MT3200 と S240 と S250は操作方法は同じです。  
パネルを見比べるとわかると思いますが、操作ボタンの並びは全く同じです。

 もしくは  を押してからすぐに


 データ入力ボタンを押します。


MT3200は、左側表示が「89」、右側表示が「Ent」と表示されます。  
S240とS250は、左側表示が「91」、右側表示が「Ent」と表示されます。

上記表示が出たら、 ボタンを押して、目的のサービスモードNOまで進めます。

目的のサービスモードNOの所で、 ENTER ボタンを押します。

(注) エンターボタンを押さず、数秒時間が経過すると元に戻ってしまいます。  
その場合は、最初からやり直して下さい。

 ENTER ボタンで表示切り替えと設定変更。

 F ボタンでホーム画面に戻ります。

(注) サービスモードNO「97」には、色々な機能が隠されています。  
この部分は、MT3200 と S240 & S250 で多少の違いがあります。  
詳しくは、サービスマニュアルを見て下さい。

(注) サービスモードNO については、ソフトウェアのバージョンが上がると、  
項目が追加される場合があります。  
このファイルに記載してあるものは、2016年7月5日現在のものです。